

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301
お問合せ電話: +81-45-717-8575

中国ニードルコークス市場近況

(2022年1月)

ICC 資訊の統計によると、中国ニードルコークス（以下、「NC」と略す）の2021年の総生産量は106万9,000トンで、そのうち石炭系は24万トン、石油系は82万9,000トンだった。

2021年のNC輸入総量は20万5,000トンで、そのうち石炭系は8万トン、石油系は12万5,000トンであった。NC輸出総量は2万3,000トンで、山東京陽科技股份有限公司と山東益大新材料股份有限公司がその91%を占めた。主な輸出先国は日本、インド、ロシア、スペインである。

2022年に入り、春節と北京冬季オリンピックが近づく1月下旬から、生産企業の減産や操業停止によるNC市場供給量が減少した。加えて、負極材料用生コークスの価格はコストアップのため7%~10%値上がりした。一方、黒鉛電極用NCの価格は安定している。冬季オリンピック前後40日間は主要生産企業の生産制限が続き、1カ月当たりのNC市場供給量は約3~4万トン削減すると予測している。

1月21日のNC価格は下記の通りである

- 中国国産NC価格（1元=18.1円で換算）
 - 石炭系NC価格は9,500~10,000元/トン（17.2~18.1万円/トン）
 - 石油系NC価格は10,500~12,000元/トン（19.0~21.7万円/トン）
 - 生コークスは7,000~8,000元/トン（12.7~14.5万円/トン）
- 輸入NC価格（1ドル=113.9円で換算）
 - 日本の石炭系NC価格は1,500~1,600ドル/トン（17.1~18.2万円/トン）
 - 韓国の石炭系NC価格は1,350~1,400ドル/トン（15.4~15.9万円/トン）
 - イギリスの石油系NC価格は1,800~2,000ドル/トン（20.5~22.8万円/トン）
 - 日本の石油系NC価格は2,500~2,900ドル/トン（28.5~33.0万円/トン）
 - 負極用コークスは1000~1,300ドル/トン（11.4~14.8万円/トン）

1月21日の週、中国の黒鉛電極の市場価格が全体的に安定した。一部の中小メーカーの見積価格は500~1,000元/トン上昇したが、実際の取引価格に変化はなかった。負極材料は需給バランスを取り価格が安定していた。2~3月、北京冬季オリンピックによる影響から負極材料の供給不足の可能性がある。今後暫くは原油の供給緊迫が緩和されないことから、石油コークスと黒鉛電極価格は上昇すると見込まれている。

情報源：ICC 資訊より整理、作成。